

平成 28 年度 第 7 回堺市堺区区民評議会 会議録

| | |
|-------|--|
| 開催日時 | 平成29年 3 月 1 日（水） 午後 6 時00分から午後 7 時50分 |
| 開催場所 | 堺市役所 本館 3 階 大会議室 1 |
| 出席委員 | 岩田会長、桂委員、川上委員、佐野委員、信田委員、谷本委員、 間宮委員、矢本委員、湯川委員 |
| 事務局職員 | 堺区役所 射手矢区長、泉森副区長、小尾堺保健福祉総合センター所長 (企画総務課) 大黒課長、上野係長、大仲係長、岩野主査、藪主査 |
| 傍聴者 | 4 名 |
| 議 題 | 1 開会 2 議事 （1）答申案について （2）その他 3 閉会 |
| 資 料 | 会議次第、配席図 資料 1 町家の保全・活用について（答申案） 資料 2 堺区まちづくりビジョンの実現に向けて 資料 3 7 区統計比較 参考資料 堺区まちづくりビジョンの概要 |

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|--|
| 発言者 | 発言内容 |
| 岩田会長 | <p>1 開会</p> <p>2 議事 (1) 答申案について</p> <p>それでは、平成 28 年度第 7 回堺市堺区区民評議会を開催したいと思います。</p> <p>本日は議事が 2 件ございまして、ひとつは答申案について、もうひとつはその他ということです。</p> <p>では、案件 1 の答申案についての審議を、まず進めたいと思います。</p> <p>これまで、5 回にわたる区民評議会での審議や堺区選出市議会議員との意見交換会を経て、諮問事項について議論を深めてきたところで、その議論を受け、取りまとめたものが資料 1 の答申案になります。</p> <p>前回の評議会において各委員からいただきましたご意見を踏まえ、作成を行った答申案がお手元の資料 1 ですが、つきましては、前回からご意見をいただき加筆修正した部分などございますので、まず事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>資料 1 について事務局から説明</p> |
| 岩田会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>修正があるということでしたが、皆さんのご意見を反映させた答申案ということで、これが最後の文章になりますので、十分に反映できてないとか、こういうふうに変えたほうがいいとか、できるだけ具体的にご指摘いただければと思います。会議は、きょうが最後になりますので、具体的にご指摘いただきたいと思います。ご意見等いかがでしょうか。</p> |
| 谷本委員 | <p>ちょっと細かいところですけど、4 ページの審議内容のところの、「民間がもつネットワークや情報、行政が担うハード整備」というところがあると思うんですけども、もちろん民間が持つネットワークや情報っていうのもいいんですけど、今、行政しか取り扱えないような</p> |

| | |
|------------------|---|
| | <p>大事な情報が物すごく多くて、そここのところは、我々、民間が絶対入っていけないところですよ。</p> <p>ですから、逆に行政の情報っていうのが、私はすごく重要になってくるのかなと思っていますので。何か行政だけがハード整備っていうのはちょっと、私からしたら温度差があるかなというふうに考えているんですけど、その辺はいかがかなと思ひまして。</p> |
| 岩田会長 | 民間が情報を持っているというのは、こう出てきますよね。 |
| 谷本委員 | そうですね。それは肯定できます。 |
| 岩田会長 | だから、両方が情報を持っているので、それをうまく組み合わせるとか、使うとかという表現にしたいということですね。 |
| 谷本委員 | そういう意味ですね。 |
| 岩田会長 | いいですか。「情報」をもう一回書くか、順序を並びかえて「情報」という言葉が両方にかかるように。 |
| 事務局 (企画総務課主査) | 例えば、民間や行政が持つネットワーク、情報という形にすれば、今、谷本委員おっしゃっていただいた両面からのという部分では対応できるかなと考えますが、いかがでしょうか。 |
| 岩田会長 | <p>いいですか。それで修正できそうですか。じゃあ、お願いします。</p> <p>他に、何かございませんでしょうか。</p> <p>例えば、2ページのところに、上に写真があるんですけど、まちなみ修景補助制度の活用事例ですが、具体的にどこって、書くべきなのかなって思うんですね。何の事例かというのを書けそうですか。</p> |
| 事務局 (企画総務課主査) | そうですね。去年、修景をしていただいて、今こういう形に修景が終わった建物になります。固有名詞を書くのがよいということですか。 |
| 岩田会長 | そうですね。例えば、何々家とか、普通に。そういう表現で、特定できるような書き方がいいかと思うんですけど。 |
| 川上委員 | ちゃんと許可とってくださいね。これ、私、リンクしたときに怒ら |

| | |
|--------------------------|---|
| | <p>れたから。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>勝手に写真を載せるのは、よくないのかもしれないですね。</p> |
| <p>事務局 (企画総務課主査)</p> | <p>確認をとらせていただいて、その上、どのような表現がいいのかと いうのを検討し、記載させていただきます。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>こういうところで、例えばホームページとか、何か書類上に使うと きに、やはりほめていきたいという意味で、少し表現を工夫したいで すね。ただ単に写真だけを載せるんじゃないで、奨励する形で載せた いなと思います。</p> |
| <p>間宮委員</p> | <p>1 ページ目の囲われている、町家とはっていう町家の定義なんです けども、これがこういうふうな形で、ここに入れてしまっているのか どうかですね。</p> <p>いろんな見方があると思うんですけども、ひとつは町家っていうか、 町の中にあって1階で商売をされていて奥で住まれていたという、そ ういう都市部に残った建物という言い方もありますし、単純に、戦前 に建築されたっていうところにくっついていいのかわかるかな。</p> <p>何かもう少し、この町家とはって、ここに入れるのであれば、何か この言葉でくっついてしまうのはすごく、ずっと読んでいくと、だんだ だんだんハードルが高くなっていくのかなという気がして。これを 入れるかどうかですね。か、もう少し何か、大きな概念で入れてしま うのか。</p> <p>どうでしょうか。戦前に建築されたっていうのがいいのか。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>そこだけじゃないという感じですね。</p> |
| <p>間宮委員</p> | <p>そこだけじゃないですね。どういうふうに、この扱いを。どこかに 入っていたらいいと思うんですけど、何かいきなりここに、こういう 形に出てくると、すごくハードルが高くなっていくような気がするん ですけど。</p> <p>あと、文章の中に出てくる町家等という言い方と、空き家っていう ことも含めてですよね。ちょっとこれを言い出すと切りがないんで、 どうしようかなと思っていたんですけども。町家であいてるっていう のが一番適切なのか、そういった意味で町家の定義をここで、こうい</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| | <p>うふうにうたっておくべきなのか。やっぱりこれは、もう取ってしまった、みんなが思っている漠然とした町家っていうことで進めていくのか、きちっと定義をつくるのかという。</p> <p>ちょっと今ごろ、これを言い出すとちょっと大変なのかもわからないんですけども。この位置にこれがあるかどうか、ちょっと議論したほうがいいのかなど思いました。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>いかがですか。</p> |
| <p>事務局 (企画総務課主査)</p> | <p>前回の冒頭で、ご説明させていただいたところでもあるんですけども、今まで、こちらのほうで町家というのを一般的な形で、幅広い意味で使っておったんですけども、町家というのは京都もそうですし、金沢もそうなんですけども、一定町家と呼ばれるものについては、こちらに書かせていただいたように戦前に建築され、基本的には建築基準法ができる前までに建てられた、かつ、伝統的な様式を要している建築物というのが、一般的に各他の都市においても町家と使う場合は、そのように使っているような形になっております。</p> <p>堺市におきましても、こちらの修景制度の町家の基準というのがこういう形になっておりまして、そういう町家っていうものと、それ以外のもの。幅広く捉えられるような、古くから、言うたらそれ以外のものも含めた形で、今回の評議会では議論いただいているところがございまして、そういった部分では、保存をしていくべき町家っていう部分と、あと、それ以外のことも含めた形でちょっと切り分けて整理したいなというところがありました。</p> <p>保存していくべきものとしての町家っていう部分と。ここで、皆様で議論をいただいているような幅広くずっと捉えたようなものを、ちょっと町家等という形で記載できればなど。そこは切り分けていければなどということ、こういう形で書かせていただいている。</p> <p>ここの冒頭に入れるかというところはあるんですけど、冒頭に入れさせていただいたのが、そもそも、ここの議論での町家っていう使い方と町家等という使い方を最初に入れておくことで、後から読んでいただく方についても、この場合はどういうケースを言っているのかというのがわかるようにできればと思い、入れさせていただいているところではございます。</p> |
| <p>川上委員</p> | <p>これ、そしたらあれですね。今回の区民評議会における町家とはを</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| <p>事務局 (企画総務課主査)</p> | <p>加えると、やりやすいのかな。町家っていうたら山口家住宅が代表的だと思いますよね。ところが、筒井家とか高林家は町家とは言わんもんね、あれ。これに合致していても。</p> <p>だから、この流れの中では、これでいいけどね。</p> <p>どのような文言を入れさせていただくのかも含めて。ちょっと入れて、一度見ていただければと思います。</p> |
| <p>桂委員</p> | <p>全くこれ同じ言葉が5ページの3の頭から出てきていますよね。町家とは概ね戦前に建築されいうて。だから、ここに載っていたら、これでいけると。さっき間宮先生が言われたように、もうこのところを省いても、これに全く同じ文章で出てきていますよね。地域が有する伝統的な様式を備えた町家の保存に向けた取組ということです。</p> |
| <p>間宮委員</p> | <p>中に入っていたら、ずっと読んでいけるんですけど、いきなりちょっとこの位置と囲みがどうかなというぐらいですけどね。重く感じないかなというだけで。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>今おっしゃったこと、私、前回解決できたんかと思っていたんですけど、きょう見たらここに入っていて。おかしいですよ、これね。</p> <p>経緯の中で、町家という言葉を引きつと使い分けないとはいけませんよねっていう、その気持ちのあらわれではあるんですけども、最後の答申にあえて、こういう書き方は多分必要ないでしょうということだと思うので。脚注すらも要らないと思いますので、さっきご指摘のあった5ページのような表現を「はじめに」のところであまく使っておけば、それで済むんじゃないかなと思ってしまうんですけど。</p> |
| <p>事務局 (企画総務課主査)</p> | <p>そのあたりを盛り込んだ形で、少し整理させていただければと思います。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> |
| <p>間宮委員</p> | <p>はい。いいと思います。</p> |
| <p>桂委員</p> | <p>この町家というのは、漠然とでしたら商店というか、商人の町堺をうたっていたから、そこからスタートして表が、たながあって奥に住ま</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>いがあるっていう、ああいうお店があつて奥がああいうふうなイメージをぱっとしてしまいますよね。町家いうことは、もうどなたもそういうふうに、思っていると違うのかな。そやから、間宮さんが言われたように、また商家のああいう建物じゃなしに。これだったら、注釈だけやったら別に商家とは書いてないし、概ね戦前に建築されたいう、頭からもう商家いうのは省いているんですかね。もうそれが前提に立っているから、書いてないわけやかな。</p> |
| 岩田会長 | <p>まあ、前提ですよ。</p> |
| 桂委員 | <p>もう前提やから。町家いうのは、もうそういうもんやと。</p> |
| 岩田会長 | <p>そうですね。はい。</p> |
| 桂委員 | <p>町家という言葉自体が。</p> |
| 間宮委員 | <p>古民家ではないですよ。</p> |
| 桂委員 | <p>ないから。</p> |
| 間宮委員 | <p>イメージなんですけど。 そこがすごくポイントで、町家っていうと、あるようであんまりないですよ。堺とか京都とか、そういう、やっぱりもともと都市のところにあるからいいわけであって、なかなか田舎へ行ったら町家はありますけども、本当に少ない。古民家になるんでね。 だから、町家っていうこと自体が結構特徴的になるんで、うまくそこは、ちょっと言い方を考えておいたほうが。やっぱり僕は堺、京都、金沢とか、そういう昔から発展した町にあるもんかなというのを、逆にちょっと、こっちから言うておいたほうがいいかもわからないですね。</p> |
| 桂委員 | <p>もう商業の町をぱっとイメージできるような感じで。</p> |
| 間宮委員 | <p>そうですね。商業の町ですよ。</p> |
| 谷本委員 | <p>多分、昭和の古い建築と何かごっちゃになるから。こういう考え方</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>しているのはね、多分。</p> <p>それで、しもた屋っていうのがあるんですよね。それも、今の人はちょっとわからないから、多分、こういう区分けの仕方をしてるん違うかなと思うんです。</p> |
| 岩田会長 | <p>どうも何か、ここの囲みだけだと時期的な話が強調されているんですけど、そうじゃないですよ。そういう意味で少し、じゃあこの辺、表現を工夫してみましよう。</p> |
| 桂委員 | <p>利晶の杜にもあるように、与謝野晶子の実家。ああいうイメージのもとに前提になっているというか、あれとリンクして、皆イメージする人もいるでしょうしね。</p> |
| 岩田会長 | <p>では、そういう修正は、次の検討はまた各個に、委員の皆さんにメール等でお伺いするというので、よろしいですか。最後に修正したやつを全部、またお送りして確認していただくということで、いいですか。</p> |
| 信田委員 | <p>11 ページの下から3つの段落。他地域で取り組まれている動きを見守りつつ、今回の答申でまとめた内容を踏まえ、実現可能なものから、関係部局や民間との連携のもと、施策化に向けた検討を進めていただきたい。他地域で取り組まれていることを追いながらみたいな表現だと思うんですけども、やはりこの辺は、やっぱり堺区独自に取り組むべきもので、この3行はなくてもいいのではないかなと、ちょっと考えましたが、いかがでしょうか。</p> <p>金沢とか、そういう事例を見たというのは出てきているんですけども、それをわざわざ結びに他地域でということまで入れることはないかなと。独自に堺らしいものを持っていけばいいのではないかなと思いますけども。</p> |
| 岩田会長 | <p>この3行を削除しても、結びとしては特に、絶対これがないといけないという話ではないですね。</p> |
| 信田委員 | <p>ないですね。</p> |
| 岩田会長 | <p>いかがですか。他の方も、いかがでしょうか。</p> |

| | |
|-------------|--|
| 川上委員 | <p>この3行を入れることによって、この「いただきたい」のが9つか10個あるやつ、ほんまにしてえなという、その願いがぐっと見えていかもしれんわ。ここ入れるかどうかは別にしてね。</p> <p>これを全部抜いてしまうと、もういただきたい、いただきたいばかりで終わってしまうからね。</p> <p>そやから、これやっぱり、このほうが踏み込んで書いている言葉やと思うんですけど。</p> <p>ただ、動きを見守りつついうところが、信田委員が嫌なんやろうなって。</p> |
| 桂委員 | <p>他地域で取り組まれている動きを見守りつつを省いて、今回の答申でまとめた内容を踏まえてからスタートして。</p> |
| 岩田会長 | <p>これって、最後でもいいんですか。結びの最後でも、今。</p> |
| 川上委員 | <p>最後に持っていくのでも、この見守りつつは外して。</p> |
| 岩田会長 | <p>これを外して。</p> |
| 事務局 (区長) | <p>見守りつつという言葉が、ちょっと消極的なんかなという。これは、そういうことなんですよ。だから、自分の独自性を出すためには、よその動きも参考にするとか、あるいは注視してとか、それらを勉強してとか、そういう意味なんですけど。ちょっと、その見守るというのは、ただ見ているだけみたいなんで、ちょっと前向きさに欠けるかなとは思いますが。</p> <p>ただ、実現可能なものから連携しながらやっていきたいというようなところは、ある意味で、これもちょっといただきたいと考えるって回りくどいんですけどもね。ちょっとそこらは生かしてもええのかなと、施策に向けた検討を進めてもらいたいというようなところがあったほうが、より前向きかなとは思いますがね。</p> <p>圧縮するか、ここのところ。もうちょっと、このダブっているところもあるんで、整理して、ちゃんと連携しながら実現可能なものから取り組んでいきたいというようなところは、より鮮明に出るような形でまとめたいと思います。</p> |

| | |
|--------------|--|
| 川上委員 | 考えるというところなんかは、要らんわな。 |
| 岩田会長 | 考えるも要らないそうです。 |
| 事務局 (区長) | わかりました。より積極的な形になるように、ちょっとそれは。 |
| 桂委員 | いただきたいばかりになるから、考えるをつけたん違うんですよ。 |
| 川上委員 | そのときそのときにする。 |
| 桂委員 | つつ、いただきたい、丸、いただきたい、丸では、ちょっと。 |
| 川上委員 | 先ほど、町家の定義の話ですけども、この5ページに書いてありますよね、実際に。同じことが書いてあるということやけども、我々はそれをわかっていても、最初からこれは読んでいくものなので、頭のほうにやっぱり、この定義的なことは入れておいてもらわないと。最後のほうに、これ、ぽっと出てもわかりにくいと思う。 |
| 桂委員 | 5ページで出てきてもね。 |
| 川上委員 | かというて、この囲みがいいとは思わない。そういうことですよ。 |
| 岩田会長 | 囲みに変えて、これを前のほうで、本文で説明を加えてもらうということですね。 ちょっと、その「いただきたい」がたくさんあるんですけど、誰が誰にいただきたいって言っているのか、よくわからなくなったんですが。評議会が。 |
| 川上委員 | 評議会から行政ですよ、これ。 |
| 事務局 (副区長) | 評議会から行政ですね、これは。 |
| 桂委員 | この 10、11 なんかは、ほとんどそればかりですよ。全部、10 |

| | |
|-------------|--|
| | の頭から。 |
| 岩田会長 | 例えば、設置することとか進めることとか、それではだめなんですか。答申なので。 |
| 桂委員 | 進めていく。進める。 |
| 川上委員 | ほんで、最後に「いただきたい」で、どんと。 |
| 岩田会長 | 最後にどんと、以上のことを踏まえて。 |
| 桂委員 | 検討をする。 |
| 川上委員 | そうやね。 |
| 岩田会長 | いただきたいと。 |
| 桂委員 | 皆する。進める。 |
| 事務局 (区長) | (2)の①②は、その辺、すいません。ちょっともう一回、文章のまとめ方は考えさせていただきます。 |
| 間宮委員 | <p>できたら、この内容を本当に簡単に言えるキャッチコピーがひとつできたら、わかりやすいんでしょうけども。ずうっと読んでいっても、書かれていることはもう間違いはないんですけども、じゃあ、この2年間でどういうふうなことができ上がったんだっていう、簡単にキャッチコピーが。</p> <p>最後に、この2年では、歴史・文化をキーワードに、まちの賑わい創出に向けた検討を行ってきたというのが、まあいいんですけども。きた結果、こういうふうなことを、ある程度の結果、成果みたいなものが。意識がすごく高くなったというのは、すごくそれは、もうそういうことだと思んですけども、それをもう少し前へ進めるキーワードが、もしあれば、何かいいのかもわからないですよ。</p> <p>もちろん町家を保全するとか、大道筋を活性化するというのはハードなんで具体的にやっていかないといけないんですけども、多分、それ以前に、この2年間で評議会があって、行政の方と一緒にいろんな</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>桂委員</p> | <p>話をすることによって、そういうシビックプライドみたいな、堺を思う気持ちみたいなのは必ず向上していったと思うんです。何かそれを気持ちとしてキャッチが、こうバーンとあれば、何か前に進んだなっていう気はするんですけども。</p> <p>今のままだとハードが結果なんで、ハードが上がるのは、なかなか難しいんじゃないですか。でも、確実にそれをやろうという意識が変わってきたんで、その意識だけをちょっと表現しておいたほうが。せっかくね、これはなかなか、みんなに持って行って説明するのはできないから、こうなったんだよというものが、やっぱりちょっと。</p> <p>それは、すごく広告的になるんですけども。</p> <p>ここで審議をやっていますけども、実際、大道筋、ずっと整備は今現在進行形でやっていますよね、ずっと。</p> <p>ザビエル公園自体もずっと整備が始まっていて、どういう形になるんかいうて聞きに来はる人もいて、まあ一応あれは見通せるように、防犯上、安全に夜でも通れるように整備はしているというだけで、詳しくは知らないんですけども、それも今ずっと整備をやっている。</p> <p>ほんで、二、三日前にまた道路整備課が来たのが、大道筋の花壇のところを、今、花をちょっと整備するという、それも進行をやっていますけども、それに合ったような景観づくりになっているのかどうか、それは知りませんが。そこら辺はやっぱり、これからいろんなそういう大道筋の花壇ひとつ花ひとつ植えるにしても区長の腕の見せ所で。その図面が上がってきたら、こういうふうな区民評議会の意見に基づいた、ちゃんとそういうふうになっているかいうのをチェックしながら最終、許可を出していくとか、区長の、副区長のほうへ回すように、そういう整備のやつ。</p> <p>特に、大道筋でこうやって出してんやから、その分の工事というか、わずかなあいう植栽に関することでも、今度ちょうどザビエルのところから宿院、というか、あつこまで花壇の植栽をちょっとやりかえる、今、予定になっているって聞いていますが、どういう状態で花を植えるのか。それは季節のものもあるし、それは専門家違うんでわからないんですけども、もう今から始めますいうて来ていましたよね。</p> <p>だから、ずっと絶えず進行形で動いているところやから、わずかなちょっとずつ、そういう工事でもちゃんとこれに沿ったように、この関係部局に堺区の工事をするに当たっては、やっぱりこういうふうなんが出ているんで、これに沿ったふうに整備を進めてくださいというふ</p> |
|------------|---|

| | |
|-------------|--|
| | <p>うに一言、二言、三言ぐらい言うておいてもらわんと。</p> <p>これ、ただ、ここで言うているだけで、実際に何にも生かされないままで、これで終わってしまう可能性、せっかくもったいないですよ。こういう意見を出していただいて。そこら辺、あとやっていたらと思う。</p> |
| 間宮委員 | <p>ここでやってきたことを、ちょっと発信したいですね。</p> |
| 川上委員 | <p>今、キャッチコピーを考えていますの。</p> |
| 岩田会長 | <p>いやいや。キャッチコピーのことで私も思ったんですけど、町家の保全・活用のあり方についてというタイトルの答申なんですけど、本当にこのタイトルでいいのかなっていうので。副題があっていいのか、いや、この中身を見たら、そんな町家の保全・活用だけの話じゃないので、もう少しタイトルのつけようもあってもいいかもわからないなということを、ふっとちょっと思いました。</p> |
| 事務局 (区長) | <p>委員の皆さん、いい言葉があればね。</p> |
| 岩田会長 | <p>アイデアを。</p> |
| 川上委員 | <p>こういうところにはあんまり行かんかもしれんけど、堺ってすごいんだぞと。みんなが感じるまちづくりのためにというのがあってね。その下にこの町家が載っていると、何のためにしているのかわかるんやけどな。</p> |
| 間宮委員 | <p>多分、その町家を保全するというのは、歴史をやっぱりきちっと残しておくっていう、保全ということになるんですけども、それを新しい視点から見て使う人を取り組むということですよ。多分、何かそういう試みというのは、もともと堺が持っている気質が生かされているんで、それが多分、ちょっと今の時代にうまく合いつつあるのかなと思うんですね。</p> <p>そんなに深く考えていない人でも、堺ってあんな古い町で、何か町家があって、すごいおもしろいよねっていう。何かそういうのに気づかせるためのもんなんです。そこに、ちょっと今的なフレーズがあれば、</p> |

| | |
|---------------------|--|
| <p>事務局 (区長)</p> | <p>すごくここが活かされているような気がするんですけどね。</p> |
| <p>間宮委員</p> | <p>間宮先生がおっしゃっていただいたとおりだと思いますわ。</p> |
| <p>事務局 (区長)</p> | <p>せっかくね、あれやけどね。</p> <p>だから、これ、何で町家ええんやろうなど。古いのにねと思ったときに、やっぱりそこに人々が生きられた空間というか、そういう歴史が刻まれた建物やから非常にいいのかなど。それをそのまま使っているもので、もう山口家住宅とか、そういう、そのままつくれる。見てもらうのもええし、家をあんばいするのもいいんですけども、それを新しい今の考え方でリノベーションして、違う用途で使っていくというようなことをご提案いただいていますので、そこに堺の持つ自由・自治・進取の気風みたいなものがあらわれるような、そういうようなまとめ方を何かやってもらえたらなと思います。</p> <p>そして、また先生方からいただいた1年目の答申の中で、みんなで場づくり、仕組みづくりというようなことでいただいた。それを大道まちづくり広場というような形で、何とかスタートさせることが皆さんのおかげでできて。その中でも、いろんな自主的な取り組みということで参加して。ただ単に、今までだったら役所が案をつくって、これでどうでっかと。パブリックコメントをいただいてやっていくというやり方が中心ですけども、皆様方のご提案で、参加型のまちづくりをしたらどうやと。</p> <p>場づくり、仕組みづくり、プラットホームをつくれということをお願いをいただいて、それを今年度、何とか立ち上げて、皆楽しみながら参加してくれて、いろいろ自分の興味でいろいろ展開していつてくれているところがあるので、それらと町家を組み合わせ、またこれからも、さらに発展させていきたいというような気持ちもありますので。それが、うまいこと皆さんでいい言葉をいただいて、やっていただいたらなと。ちょっとヒントをいただいたら、また考えましようか。</p> |
| <p>間宮委員</p> | <p>この町家の保全・活用のあり方っていうのは、ちょっとサブで、やっぱり頭に何か、もうちょっとソフトのイメージが欲しいですよ。確実に変わってきているので。</p> |

| | |
|------|---|
| 岩田会長 | <p>もっと変わらないといけないですね、刈りね。</p> <p>そのための何か起爆剤として、今までどおりの答申のおかたい文章だけで終わるんじゃないくて、もっと人の気持ちをつかむような何かが必要ということですね。</p> |
| 桂委員 | <p>この表題自体を、これをサブにされて、何かもっとやったほうが。何かあまりにも個別過ぎて、これ、何かこれだけにやってたんかなみたいな感じに。</p> |
| 岩田会長 | <p>いや、ことしはこのテーマを与えられたんですけど、でも私たちはここに、これだけに集約していたわけじゃなくて。</p> |
| 桂委員 | <p>任期の間は、これになってきただけで。</p> |
| 岩田会長 | <p>いろんなことが、やっぱり絡んでいるので。もっとご意見、いろいろいただきましたが。</p> |
| 桂委員 | <p>棒でびゅっびゅっとやって、この上へ、先ほどおっしゃられたように大きいタイトルがあって、その下にこれが、バーで囲まれたタイトルとして。</p> <p>何や、2年かけてこれなん、これかいなって。町家の保全・活用かいなど。</p> |
| 谷本委員 | <p>それは、思えへんと思うけど。</p> |
| 桂委員 | <p>思えへんけど、これ、タイトルだけ聞いたら。表題。</p> |
| 間宮委員 | <p>いや、これから始まることばかりなんで。ここまでのものを。</p> |
| 桂委員 | <p>だから、サブにすれば何か大きくひとつ、何か表題いうのを。</p> |
| 岩田会長 | <p>もっと積極的にいきましょう。</p> |
| 谷本委員 | <p>要は、最後まで読んでもらえるような、そのタイトルを。</p> |

| | |
|------------------|--|
| 桂委員 | それやったら、もう私興味ないですって言うたら、それで。 |
| 谷本委員 | 要は、そういうステイトメントをつくらなあかんということですよね。ぱっとね。 |
| 桂委員 | 町家と言っても、堺区全体から見れば、ごく一部の地域だけですんでね。ああ、これもう何やと思ったら、それで終わりやから。 |
| 谷本委員 | 関係ないわってね。 |
| 岩田会長 | その具体的なタイトル案とかにつきましては、皆さん、委員の方からアイデアをいただけるんでしょうか。それとも、何か事務局案みたいなものに対して意見を言うほうがいいんでしょうか。どちらがいいですか。 今、幾つか出ましたからね。 |
| 事務局 (企画総務課主査) | 今、いろいろご議論いただいている中で、基本的には、やっぱりこの答申ではありますので、皆様のほうから、やはりご意見をいただきながら。どちらかという、そういうご提案もございましたので、きょう、この中でそういったキャッチコピーのアイデアみたいなものは、ちょっとご議論いただければいいかなとは思っております。 |
| 岩田会長 | 先ほど、川上委員から、みんなが感じるまちづくりのためにみたいな、何かそういう表現もありますよっていうことを言っていたと思うんですが。あと、堺の歴史を感じるまちづくりのためにとか、他にどんなのが。 いろいろ言っておいて、また、まとめるのは後でまとめたらいいと思うんですけども、何かぴかっと思いついたものはないですか。 |
| 川上委員 | じゃあ、次のやつで。堺の自由でしなやかな気風が生み出してきた新しい文化再構築とかね。 |
| 岩田会長 | 長いですね。 |
| 事務局 (企画総務課主査) | ちょっと向こうのボードに書かせてもらいますので。 |

| | |
|------|---|
| 岩田会長 | キーワードを出していただいて、それを組み合わせるとかしたらいいかもわからないですね。 |
| 川上委員 | それがいいね。 じゃあ、自由でしなやか気風を入れて。 |
| 間宮委員 | 一番うまいやり方は、京都へ行こうとかいう中で、例えば堺だったら、利休にたずねよっていう何かありましたよね。ああいうキャッチで、堺へ行ったら何かあるんやなって思わすきわりをつくって、町家の保全をしているという、そういう入り口をどういうふうに入れるかですよ。 |
| 川上委員 | そうだ、堺へ行こうやね。 |
| 間宮委員 | そう。そういうなね。 |
| 谷本委員 | それ、何かパクってる。 |
| 間宮委員 | パクってる。それはあかんけど。そういう、それを堺が。これは、堺を歩けばっていう、今これ。 |
| 川上委員 | ここに書いてある、堺を歩けばみたいな。 |
| 間宮委員 | 何かそういうことですよ。それと町家というのが、ちょっとリンクしないといけないんですけども。 |
| 桂委員 | なんせ、市長から諮問されたタイトルが、これですからね。この1ページの冒頭に書いていただいているように、町家の保全・活用のあり方というのが大テーマですから。 |
| 川上委員 | でも、それを考えるのが、今言っているやつでしょう。こういうことの気持ちの中で、これを考えたということやからね。 |
| 桂委員 | だから、もうひとつ引きつけるような。 |

| | |
|------|---|
| 岩田会長 | <p>じゃあ、ちょっと一旦クールダウンしまして。別件、何か他にご指摘ありますか。よろしいですか。</p> <p>じゃあ、ご意見がなさそうっていうのか、ご意見としては、この表題をもう少し工夫するというご意見を最後に、大きな課題としておきたいと思います。具体的に、きょう決めろということでもなさそうだと思いますが。</p> |
| 間宮委員 | 何か出そうなんですけどね。 |
| 岩田会長 | 出そうですか。 |
| 間宮委員 | いやいや、皆さんの。ちょっと、僕、お茶を飲むっていうのも、お茶を飲むってお茶を飲むだけじゃなくて、その時間とか、空間とか、時代とか、いろんなの含めてあるんで、何かそういうので、うまく誰か。何かお茶を飲むっていいですよ、堺でお茶を飲むっていうのは。 |
| 谷本委員 | <p>僕は、それ、実は行政の人に言うたんですよ。お茶文化って言ってしまうと広がりがないんですよ。僕は、その表現を変えたほうがいいんじゃないかって言って、ちょっと変わっていますよね、たしか。</p> <p>先生おっしゃるのと一緒に、お茶っていうのはもう建物から、時間から、全てを提供するひとつの言葉なので。決して、茶道だけを意味するものじゃないから。何か、堺へお茶行こうぜみたいな感じもいいかもわからないですね。</p> |
| 間宮委員 | だから、スターバックスでコーヒーを飲むっていうのも、堺でお茶を飲むという意味でいいと思うんです。 |
| 谷本委員 | そうそう、喫茶文化。 |
| 間宮委員 | <p>喫茶文化なんで。やっぱり、そこやわね。そうすると、今の子ども行きたくなるなと思うんですよ。あんまりそこで歴史とか、まちづくりって入れるとわかりにくいんで、単純に、堺でお茶を楽しむみたいなものがあって。</p> <p>本当は、もうちょっと町家を。そうやって町家を利用して、お茶を飲むスペースがいっぱいできていくと、すごい堺の特徴になっていって、やっぱり堺ってお茶の文化やから、こんなんができてきてんなど</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>いうのをやると、どんどんどんん堺らしさが出てくると思うんですけど。</p> <p>お茶を飲むっていうのは、やっぱり。</p> |
| 桂委員 | <p>お茶で一服とか、お茶で一息とか。</p> |
| 間宮委員 | <p>そうですね。お茶でコミュニケーションみたいなね。</p> |
| 桂委員 | <p>一服のぷくは、あれ、一服入れる、服の。</p> |
| 川上委員 | <p>堺でお茶を楽しむよりも、楽しもう堺でお茶をやね。キャッチコピーをつくるんやったら。</p> |
| 間宮委員 | <p>何か、そんなんがあったらいいですね。</p> <p>それで、スターバックスがばあんと出てて、横に珈^ろ伊^ももあったりして。普通に、ちんちん電車を見ながらお茶飲んでたりとか。</p> |
| 川上委員 | <p>やっぱり、ここから離れんようにしてる。</p> |
| 間宮委員 | <p>そういうものが欲しいですよ。</p> |
| 岩田会長 | <p>ゆったりとか、はんなりとかって言葉の堺語ってあるんですか。特になさそうですか。</p> <p>お茶を楽しむというところの、そこの何か空間とか時間をみんなで共有するという、そういうことを伝えるようにしたいかなって思うんですけど。</p> |
| 川上委員 | <p>異空間って言葉を入れるんやね。優しい言葉の中に「か」とか「く」を入れると鋭くなるから。異空間と入れて、でも優しい言葉をつけるんですね。そしたら、読んでいて気持ちいい。</p> |
| 間宮委員 | <p>お茶は、やっぱりキーワードかな。和菓子とか、いろんなものにつながっていくから。堺へお茶を飲みに行こうみたいなものが、うまく。</p> |
| 岩田会長 | <p>堺でお茶しよかとか。</p> |

| | |
|------|--|
| 間宮委員 | 何か、そういう堺とお茶。 |
| 信田委員 | <p>今、まちカフェって行って、全国的にそういうのをしている業者みたいな人があって、全国的にいろんな、そういう町家みたいなものを探して、それを見つけたらそこで起業するという、そういうのがあるので、あまりお茶にこだわると、何かそれとあんまり同じことになってしまわないかなというのと。</p> <p>それと今回、堺の場合、町家でも、いわゆる刀鍛冶の店とか、いろんな昔からの企業のところも残っている。そういうのもあれば残していくというのが、一応入っているんですね。それと、あんまりお茶にこだわらないほうが広がるのかなと思いますけれども、どうなんでしょうかね。</p> |
| 川上委員 | 堺いうたら、日本の他の人が何を感じるかいうたら、自由やね。だから、自由でしなやかいうところなんですかね。ほんまはどうか別にしてね。よその人が感じるのは、自由でしなやか。そういう気風が新しい文化を生み出してきたんやと、そこへつながってきとるから。イメージとしてはそうですわ。 |
| 谷本委員 | 海のイメージもあるって言いますよね、地方の人は。堺の。 |
| 川上委員 | 煙突からいっぱい煙が出てるね。それは言いますね。 |
| 谷本委員 | それは、ちょっとネガティブやけど。海っていうと、どっちかというといいイメージになるから、そういう港みたいな、異文化が入ってくるようなイメージが。 |
| 川上委員 | <p>異文化はありますけど、昔はダークシーいうて、嫌がられとったんですね。だから、灯台つくれ言うて。</p> <p>あんまり細かく言うと難しいから、もっとふわあつとした感じの。そこへ、これがのったら、かたいからいいですよん。</p> |
| 岩田会長 | これは、どうしましょう。この評議会の時間以外に、ゆったりと飲みながら考えてもいいかもわからないような課題なんですけど。 |
| 桂委員 | もう頭だけですからね。中身じゃないから。 |

| | |
|------|--|
| 岩田会長 | もうすごく大事な話なんですけど。 |
| 川上委員 | そういうののために、これをやったということでしょう。 |
| 岩田会長 | そうですね。 |
| 佐野委員 | 愛着あるまちづくりとかですか。 |
| 岩田会長 | それを、もうちょっと何か。 |
| 川上委員 | まちづくりに愛着を。ちょっと何か、他の言葉なかったっけ。 |
| 岩田会長 | <p>じゃあ、済みません。一回とめさせてください。</p> <p>じゃあ、答申案について幾つかご意見をいただきましたので、その点については修正をして、皆さんのほうにご連絡させていただきたいと思います。</p> <p>それから、タイトルというか、キャッチーな話については、もうちょっと、また後で、もう一回触れさせていただきたいと思いますが。</p> <p>(2) その他</p> |
| 岩田会長 | <p>そうしましたら、次は、案件2のほうに一旦移らせていただきたいと思います。その他についてですね。</p> <p>28年度の諮問に対する答申について整理をしていきたいということでしたけれども、このメンバーで集まるのもこれが最後の機会になります。2年間の総括としまして、皆さんが考える堺区の課題について、今後のことも考えながら意見交換をしたいというふうにご考えておられるそうですので、その点につきまして事務局のほうから、現状などについてご説明いただきまして、ご意見を少し頂戴したいと思います。</p> <p>資料2について事務局から説明</p> |
| 岩田会長 | いかがでしょうか。いろんなデータに基づきまして説明がございましたが、これから、このデータから、もしくは日常感じておられるこ |

| | |
|------------------|---|
| | <p>とから堺区の今後の課題について、皆さんどういったことを言いおきたいか、言い残したいかっていうことになるかもしれませんが。いかがでしょうか。</p> |
| 矢本委員 | <p>これを最初にざっと見させてもらって、一番思ったのが、住宅総数が一番多いわけですね、堺区。その中で、空き家率が一番高いということが本当に問題だなと。あんまり住んでいて、そんなに空き家があるなというふうな感じはしないんですけども、データを見たら、そこはやっぱりすごい問題だなと思ったんですね。</p> <p>それと、やっぱり 65 歳以上の独身ですかね。独居老人がやっぱり多いというところも相まって、この辺やっぱり大きな課題じゃないかなというのを一番最初に感じましたね。</p> |
| 岩田会長 | <p>ますますふえますよね、空き家が。そうすると、これからね。</p> |
| 桂委員 | <p>これ、住宅総数の中に空き家は含んでいるんですか。</p> |
| 事務局 (企画総務課主査) | <p>それは含まれています。</p> |
| 桂委員 | <p>含んでいるんですか。</p> |
| 岩田会長 | <p>谷本委員、どうぞ。</p> |
| 谷本委員 | <p>矢本委員がご指摘されたように、うちらが出店するときに、実は言う市場調査をしたんですね。それで、市場調査の中で、残念ながら堺区は非常に厳しい区という判断をしまして、商売がもう成り立たないのが実際、本当のところですよ。</p> <p>したがって、今、矢本委員がおっしゃったように本当に深刻で、私は、それを初めからわかってたんで空き家の問題を出したんですね。もうマーケット調査をしたときに、物すごい深刻な数字が出ているんですよ。</p> <p>私これ、ちょっと東京で今度セミナーがあるときに発表しようかなと思ってはいたんですけど、本当に堺区の人にはやってほしいなということがひとつあって。我々商人が出店するときに、そういうビッグデータが容易にいただけるような仕組み、マーケティングですよ、要</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| | <p>は。結局は、出店するっていうことは、不動産屋と人とのマッチングじゃないんですよ。その地区でどんなニーズがあるかが一番重要なんですよね。そういうデータをもらえるかっていうのが、本当に大事なところで、私らはそれで何百万をかけて調査しているんですね。</p> <p>ひとつ言えることが物すごいおもしろいことで、お茶は全国平均で7掛けしか飲まれてないんですよ、堺というのは。コーヒーが食品の中で唯一、全国平均より上にいっているんです。そやから、お茶のまち堺というのは、本当はコーヒーのまち堺なんですね。それと、あともうひとつおもしろいのが、カステラが全国平均より上なんですって。</p> <p>そういうデータがいっぱい、商売するときには必要なんですよ。そういうのは、本来、商売するときには参考にしたいところなんですけども、物すごい費用がかかるんでね。商圏 500 メーターとか2キロ以内の、やっぱりデータというのは、本当にマーケティングデータというのをいただけるような仕組みですね。そういうのが行政の中であれば、堺区へ行ったら、こういう商売やったら、はやるんちゃうかみたいのがあれば、私は物すごく助かるかなと。</p> |
| <p>事務局 (企画総務課長)</p> | <p>そんな調査統計のデータというのは、基本的に、個人情報以外は全てオープンにするという目的で調査していると思うんですけど。</p> |
| <p>谷本委員</p> | <p>オープンですけど、商売するときには、どこの誰に行ったらええねんって、普通の人わからないんですよ。その数字を、どこからとったらいいんかとかいうのが。</p> |
| <p>事務局 (企画総務課長)</p> | <p>ああ、そういうことですね。</p> |
| <p>谷本委員</p> | <p>そういうのを情報公開してくれるような行政サービスがあれば、僕はもっと開業しやすいやろうし、それと、失敗しにくいんですよ。やってから皆、失敗に気づくんですよ。ほんで、空き家に入ったけど、すぐ退店みたいなことが起こるんでね。</p> |
| <p>事務局 (企画総務課長)</p> | <p>確かに、我々も統計データを見るのって、なれてないとどこから探しにいったええんかというのは、わかりにくいですよ。</p> |

| | |
|-------------|--|
| 谷本委員 | <p>しょっちゅう、もう出店している方だったら、全国チェーンはもうそういうのは仕組みができていていいんですけど、リージョナルなところって、なかなかそういうマーケットデータってとれないんですよ。それが、せやから、実際に開業するときの一番大きなハードルなんですよ。</p> |
| 岩田会長 | <p>そこ、矢本委員も同じような立場で、そういうデータがきっと必要だとお感じになっているんじゃないかと思うんですけど。ふだん的に、どんなふうに使っていらっしゃるんですか。</p> |
| 矢本委員 | <p>いや、あまり使ってないですね。僕らは逆に、いろんなことをしている中で、そういう必要なデータを集めることが多いので。</p> |
| 岩田会長 | <p>それは、外には提供しないんですか。</p> |
| 矢本委員 | <p>必要などころには、当然できるんですけども。</p> |
| 岩田会長 | <p>例えば、役所のほうにって。</p> |
| 矢本委員 | <p>それはもう、一緒にやっているときとかであれば、そのまま上げていきますし、求められれば幾らでもなんですけれども。</p> |
| 岩田会長 | <p>何か、そんな仕組みもあってもいいですねってことですけども。</p> |
| 事務局 (区長) | <p>それは、ネットでもある程度はとれるようにはなっていると思いますね。だから、人口データに関しては、年齢別人口については各校区別に、また、町別ぐらいでも、住民基本台帳に基づく年齢別人口は、そのレベルで毎月、月末現在で出していますわ。それはネットで、すぐにとれますわ。</p> <p>そして、先ほどおっしゃっていたカステラとか、コーヒーとかですね。消費のことについては、全国家計調査のデータやと思うんですけど、それについては政令市になっているんで、ようやく堺市という形でも、ある程度はとれるようになったと思いますが、以前、政令市でないときは、そのデータも大阪府全体のデータで、都市としては出でなかった。あれは、たしか県庁所在地と政令市、そして都道府県、それだけやったと思うんですよ。そやから、都市レベルではとれると。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | ただ、ミクロな地域で、例えば、まだ堺区までは出てないとは思いますが。 |
| 谷本委員 | 我々、実際に必要なのは商圈2キロとか、商圈500メートルのデータが欲しいんですよ。 |
| 事務局 (企画総務課長) | 多分、サンプリングでしょう。今、言うた家計調査も。 |
| 事務局 (区長) | それは有意水準で、その堺市という形では、何を消費しているという傾向は、ある程度伝えないと。 |
| 事務局 (企画総務課長) | 多分、電話調査とかで答えてくれたサンプリングデータなんで、その商圈で云々というのはないですわ。 |
| 岩田会長 | ないから、ないって言うておいていいのかどうかは、どうでしょう。 |
| 谷本委員 | そこで、堺区はこういう傾向にあるよというのがある程度わかれば、かなり開業で成功する率も高くなってくると思いますけどね。 |
| 岩田会長 | 人を呼べる、ひとつの手段ということですね。 |
| 事務局 (区長) | 先ほどおっしゃったようなビッグデータに関しては、今後、そういうことも、動きをどう捉えていくかということで。市が直接ダイレクトに調査するというよりも、むしろちょっと別の間接的な捉え方で、それは考えていかんといかんなどは思いますけども。 |
| 事務局 (企画総務課長) | そういうのを商売にしている、多分、リサーチ会社もあると思うんです。 |
| 谷本委員 | いや、そうそう。それでお金がかかるんです。 |
| 事務局 (区長) | 独自でやったら、金かかるということですね。 |
| 事務局 | それを行政がやれと。 |

| | |
|-------------|--|
| (企画総務課長) | |
| 谷本委員 | そやから、僕が言いたいのは、補助金だけじゃないですよというんですよ。 |
| 事務局 (区長) | そういう意味でのデータサービスね。 |
| 谷本委員 | ソフトを補助してくれるほうが、僕はずっといいと思っているんですよ。 |
| 事務局 (区長) | それが、先ほどおっしゃっていたことのひとつなんです。ハード整備するだけじゃないですよ、情報提供のひとつがそのデータということですね。わかりました。 |
| 岩田会長 | 人口統計なんかはありますもんね、どこでも。 他に。他の方、いかがでしょうか。もうきょう最後です。よろしいですか。いいですか。よろしいですか。 湯川委員は、どうですか。 |
| 湯川委員 | 町家とかは、あんまり関係のない話でいいですよ。ね。 今、ちょっと子どもの貧困とか、そのあたりにすごくかかわっていたりとかして、その他に独居老人がふえているであったりとか、空き家が多いというのもすごくかかわってくるかなと思うんですけども、やっぱりその地域で、そういった子たちを含めて、子どもたちを育てていくかというか、そういう地域で子育てをどうしていくかというところが課題かなというふうに思っています。 堺区の中でも、やっぱり校区ごとに本当に違うところがあって、ある校区ではすごく教育熱心なお母さんが、お母さんというか親が住んでいる校区は、やっぱり教育に力を入れている学校の、そういう雰囲気があったりとか、ある校区によると、本当に子どもがちょっと貧しい状態なので、それをどう学校側が支えていくかというので、学校側は結構、学校の先生であったりとか、そのあたりがすごく授業以外のところですごく頑張っていらっしゃったりとか。本当に校区によってすごく差があるなというのを、今回、すごく目の当たりにして。 その中で堺区として、どうそれを取り組んでいくかというのは、今 |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>後、幾ら今のいい状態をつくっても、どう次世代に引き継いでいくかというところのほう。さらに、その次世代が育っていないと、やっぱりまちというのは成り立っていかないかなというふうに思うんですね。その人たちが、やっぱり今後、社会に出て働いて、またそのお金が税収となって地域ってというのが、またそういう支え合いという状態がつかられていくという中で、何かちょっとそこが途切れようとしているのかなというのをすごく感じていて。</p> <p>なので、その地域で子育てといっても、いろんな、そういった教育の面までは地域では支えられないかもしれないんですけども、やっぱり親のサポートであったりとか、何かそういう地域のコミュニティで何か支えていけるような仕組みというものがもう少しあれば、そういった貧困世帯と呼ばれている人たちにも、何か支えになるのかなと、そのあたりというのは、本当に早急に話し合っておかないと、より深刻になっていくというふうに思います。</p> <p>今、そういう小学生とかで貧困になっている子というのは、全員が全員とは言わないですけども、行く行くはニートであったり、ひきこもりというところにつながってってしまうんですね。そしたら、やっぱり負担というか、こちら側が負担していかないといけない大きな問題かなというふうに思うので。みんなが働く必要はないんですが、何か社会とつながっていく仕組みというものを、やっぱりまちで考えていかないといけないんじゃないかなというふうに思っています。</p> |
| 岩田会長 | <p>ありがとうございます。非常に重要な課題で、まだ、あまり堺のほうではそういう話は見えていないけども、やはりずっと根底に、そういう話がありますよね。</p> |
| 事務局 (区長) | <p>そうですね。それは、真摯に取り組んでいきたいと思っています。今年度お世話になって、いろいろモデル的にやっていただいて、それがこういう地域で、今度はそれぞれ主体的に取り組んでいくところに対して、その設備をつくるに初期投資の応援をしようというようなことで、予算も堺市全体でつきました。</p> |
| 事務局 (企画総務課長) | <p>いや、議会中。</p> |
| 事務局 | <p>済みません、議会中です。今、議会で議論をさせていただいている、</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>(区長)</p> | <p>提案させていただいております。それは市の制度として、地域で応援していこうという、その自主的なところに応援していこうという、そういうことはやるんですけども。</p> <p>もうひとつ、いいご指摘をいただいたのは、校区によって多様であるということです。その辺については、我々、自治会とも毎回よく校区とお話しする機会も多うございますので、それをひしひしと校区によっての多様性も感じますし、また、今お話に出ましたデータによっても、大きくマンションが建って新しい方がどんどん住んでいるところであったり、高齢化して独居の方が多いたるところであったり、いわゆる、そういうデータでも把握できると思いますので。次年度の課題としては、我々は校区に応じた、そういう子どもさんを応援していくようなことを真摯に取り組んでいきたいというふうに思っています。</p> <p>もちろん貧困の問題もありますし、孤食の問題もあります。さまざまな問題が滞積してあるんで、そこのところは区として、区教健などを活用してやっていきたいと。</p> <p>それで、今年度は親のサポート、地域の親。だから、今までは子どもの直接的な親だけが親なんですけども、社会的な親ということで、斜めの関係を大事にしていこうということで。地域で、今も出た学校はどうしてくれんねんというような考えも、ちょっとここ何年かあったかのように思いますので、地域の次の担い手と、まさに次世代を担う子どもたちとおっしゃっていただいたような、そういう基本的な姿勢で地域の、次の地域を担っていくのは子どもたちだということで、地域で担っていただくというような考え方のもとに、そういう応援の仕組みを個別考えていきたいと思っています。</p> <p>いろいろありがとうございます。貴重なご意見をありがとうございます。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>他には、よろしいでしょうか。</p> |
| <p>間宮委員</p> | <p>あと、僕ちょっと情報として、取材してもらったやつをばさっと持ってきているんで。その他にあったと思うんですけど。なかったですか。それだけじゃなく、その辺ですね。</p> <p>きょうの話の総括かどうかはわからないんですけども、ちょっと「S A K A I N O M A」というのをつくらせていただいて、今月で5件ぐらい取材も来ていただいたんですかね。また、その取材もふえていく</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>と思うんですけども。要は、今まで堺というのはわかりにくかったんですけども、やっぱり何か今ブームだと思うんですね。そういう古いものを残していくという。その中で町家というのは、なかなか、どこにもありそうでないものなので、そういったことがぼんとできると、やっぱり取材のネタになりやすいんですね。</p> <p>ただ単に、その町家だけじゃなくて、それを通じて堺の文化・歴史みたいなものは、どんどんそこから情報として発信していけるんで、この評議会で町家を扱って、こういうふうになってきたんですけど、ここ、すごくチャンスだと思うんですね。やっぱりこれを、やはり今の時代にうまく活用して発信していくと、どんどんどんどん、今まで知らなかったものがどんどん発信していけるんで。何かそういったことを、この協議会を通じて、さらに取り組んでいけたらなと思います。</p> <p>ちょっと、こういったいろんなところから取材を受けているということ、ちょっとご報告ということで、参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>それと、この「堺を歩けば」というのは川上委員に、ほとんど川上さんの本みたいなものなんですけども、川上さんの知識を、今まで僕らも知らなかったことをすごく盛り込んで、わかりやすくマップにして。本当にこれ一冊買って堺を歩けば、めちゃくちゃおもしろい、何度でも行きたくなるような内容につくっていただいているんですね。こういったものも、すごくひとつのきっかけになるのではないかなと思います。これ、4月中旬ぐらいに発売になると思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。どんどん何か進んでいるようで、うれしいと思います。</p> <p>他。じゃあ、他の方よろしいですか。</p> <p>それでは、約2年にわたりまして、歴史・文化という視点からのまちのにぎわい創出といったことについて、皆さんにご議論いただきました。今後のビジョンの実現につきましては、今まで議論してきましたいろんな視点以外からのいろんなアプローチ、先ほどもご意見いただきましたけれども、それから、まだこれからもお気づきになることもあることもあろうかと思いますが、いろいろ課題もあるかと思えます。それで、そのことを、またお気づきのときには、いつでもご連絡いただきましたら、事務局のほうは受け付けてくれると思いますので、今後ともご支援いただけましたら幸いです。</p> |
|--|---|

岩田会長

| | |
|---------------------|--|
| | <p>そうすると、お時間もきています。本日は、これで評議会を終わりたいと思います。</p> <p>今回をもちまして、このメンバーの評議会は最後となります。最後ですということで、もう一言何かという方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>じゃあ、私のほうから。2年間、本当に活発にご意見をいただきまして、こんなにやりやすい審議会は私はなかったとっております。本当にいろいろ、ご意見を頂戴し、ありがとうございました。</p> <p>じゃあ、また、いつかお目にかかれることを楽しみにしております。ありがとうございました。</p> |
| <p>岩田会長</p> | <p>では、区長のほうから総括をお願いします。</p> |
| <p>事務局 (区長)</p> | <p>きょうをもちまして、堺区区民評議会、きょうが最後の審議ということで、岩田会長を初め委員の皆様には、2年間にわたりまして、堺区の歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりについてご審議をいただき、本当にありがとうございました。</p> <p>堺区では、去年はまちづくりビジョンの改定、そして、歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりをテーマにご審議いただいて、今年度はそれを受けまして、町家について焦点を当てて、町家も含めた歴史的文化的文化資源を活用した堺区のにぎわい創出に向けた方策についてご審議いただきました。</p> <p>答申に基づいて、町家活用を促進させる仕組みづくりや、町家は大事なもんやと、これを大切に保存して、さらに活用していこうという、そういう意識の向上。そして、さらには大道筋の活性化に向けた取り組みを我々のほうでも進めていきたいと考えております。</p> <p>去年の答申を受けまして設置しました大道筋のまちづくり広場も始まったばかりですけれども、そこでは堺区のまちづくりに皆さんに主体的に参加していただいて、みずからの楽しい、そういうものをさらに伸ばしていこうということで、我々も応援して、公民協働のまちづくりを進めていきたいと思っております。</p> <p>町家を初め、歴史的文化的文化資源を活用して、大道筋周辺地域を魅力ある、趣のある空間にして、堺のにぎわいづくりにちょっとでも貢献できたらと思っております。また、きょうは評議会にご意見をいただき改定した堺区まちづくりビジョンの実現に向けて、審議内容、それから、テーマ以外にもいろんな意見をいただきました。皆様からいただ</p> |

| | |
|------|--|
| 岩田会長 | <p>いた意見を踏まえまして、今後も堺区のまちづくりを進めていきたいと思ひます。</p> <p>今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。改めまして、委員の皆様、2年間本当にありがとうございました。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>3 閉会</p> <p>以上をもちまして、第7回堺市堺区区民評議会を終了いたします。どうもありがとうございました。</p> |
|------|--|